



第2回まちづくり交付金事後評価委員会

宇都宮テクノポリスセンター地区の 事後評価について

平成23年11月17日

総合政策部 地域政策室

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



(1) 地区のまちづくりの経緯について

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



地区のまちづくりの経緯について



【当初計画（平成19年3月）】

事業	事業名	内容
公園	近隣公園（2箇所）整備	近隣公園（2箇所）の施設整備
土地区画整理事業	宇都宮テクノポリスセンター 土地区画整理事業	区画道路の築造
地域創造支援事業	まちづくり活動推進事業	地区PRのためのパンフレット作成



(2) 事後評価について



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

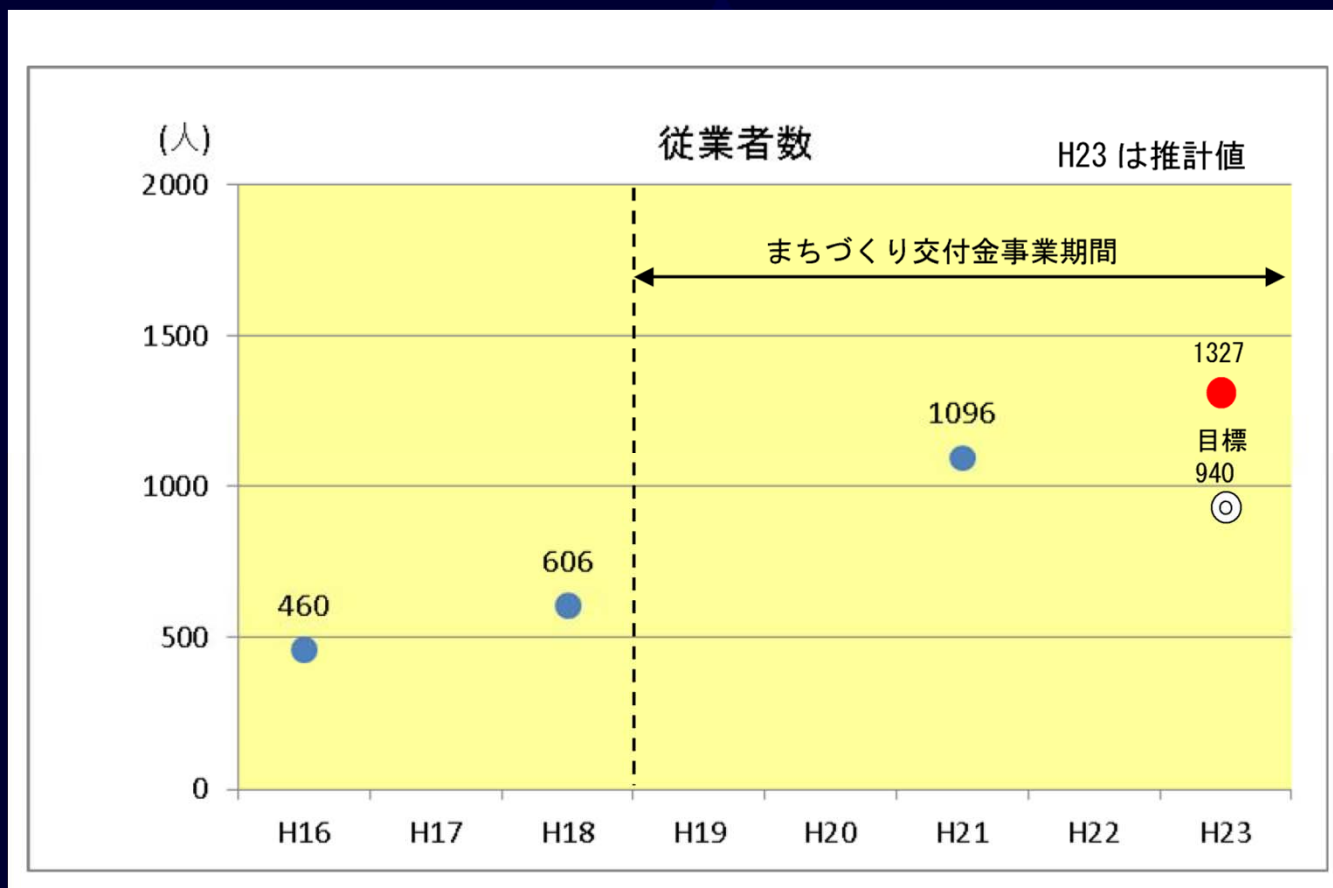


①成果の評価及び②効果発現要因について



【指標 1】

指標	単位	従前値 (H16)	目標値 (H23)	評価値	目標 達成度
従業者数	人	460	940	1,327	○



住めば
愉快だ
宇都宮

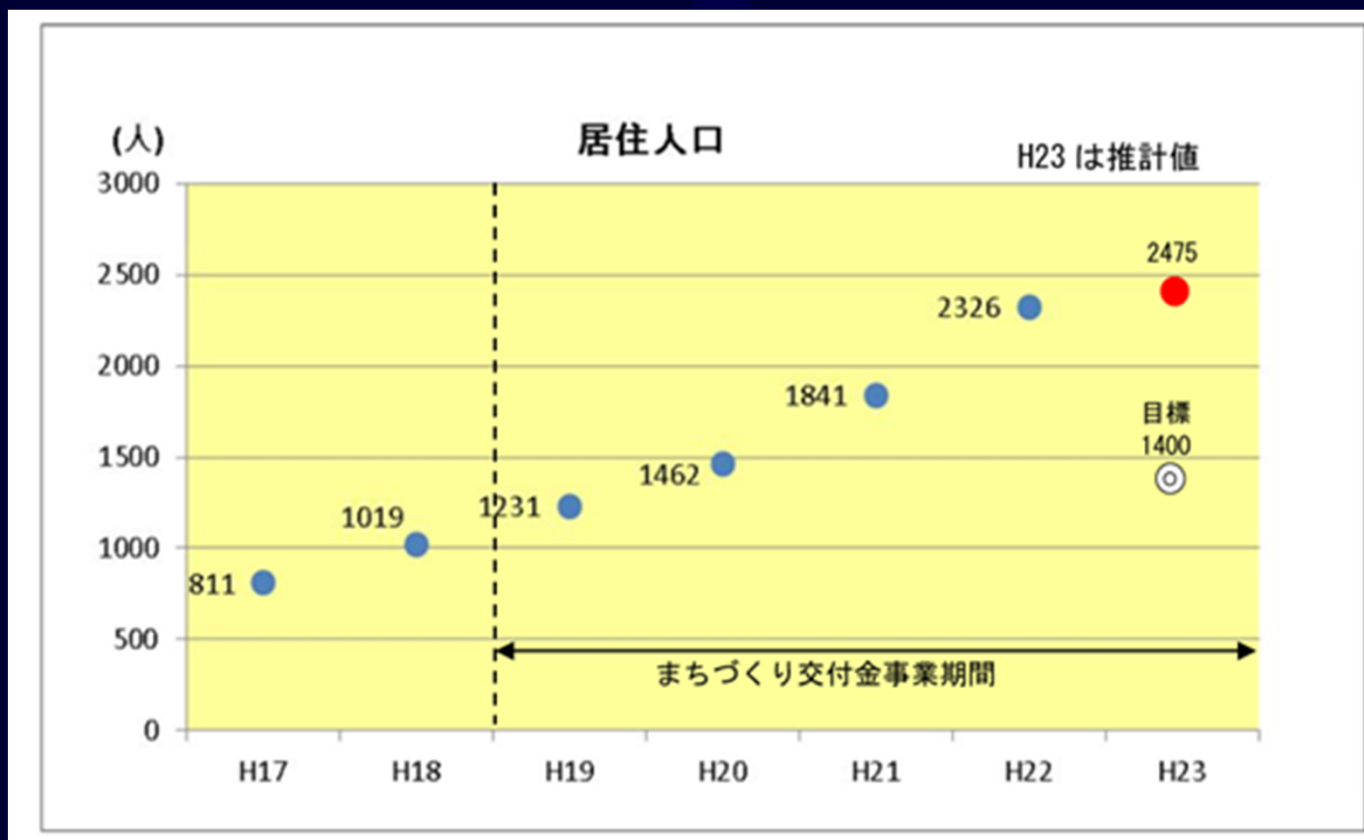


①成果の評価及び②効果発現要因について



【指標 2】

指標	単位	従前値 (H17)	目標値 (H23)	評価値	目標 達成度
居住人口	人	811	1,400	2,475	○



住めば
愉快だ
宇都宮



①成果の評価及び②効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

- 土地区画整理事業により小中学生や通勤者等が安全・安心して歩行できる道路空間が整備されている。
- とちぎ産業創造プラザや自動車関連の研究施設の立地により、本市の産業を牽引する拠点としての形成が進んでいる。



③実施過程の評価について



□住民参加プロセス

- ・公園整備計画の策定過程において、遊具施設のニーズを捉えるため、地元自治会を対象にアンケート調査を実施

□持続的なまちづくり体制の構築

- ・街区公園を含め公園愛護会の設置に向け、働きかけを行う。



(3) 今後のまちづくりについて



住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA



今後のまちづくり方策について



【まちの課題の変化】

- 地区住民が災害時に一時的に避難できる近隣公園が2箇所整備され防災機能が向上している。
- 土地区画整理事業により狭あい道路や行き止まり道路が解消されるとともに、都市計画道路を中心とした計画的な道路配置に基づく、区画道路や歩行者専用道路の整備により、地区内の交通ネットワークが向上している。
- 自然環境に配慮した公園整備や歩行者に配慮した道路整備などにより良好な住環境が整備されるとともに、日常生活に必要な生活利便施設が立地しており、快適で利便性の高い居住環境が整備されていることから、今後は地区の新たな魅力を創出し、更なる居住人口の増加を図る必要がある。
- 産業技術の高度化や新事業への取り組みなどを支援する「とちぎ産業創造プラザ」や「自動車関連の研究施設」が立地し、本市の産業を牽引する拠点としての形成が進んでいることから、引き続き、研究・開発施設等の立地誘導を進める必要がある。



今後のまちづくり方策について



1. 交流促進

地区内には子育て世代を中心として新たな住民の居住が進んでいることから、自治会への加入促進等により交流の機会を促進する。

2. 居住人口の増加

良好な住環境を維持するとともに、商業施設等の生活利便施設の立地促進等により、利便性の高い市街地の形成を更に進め、居住人口の増加を図る。

3. 施設立地の促進

本市の産業拠点としての形成を着実に進めるため、広域交通ネットワークの優位性を活かした企業誘致や施設立地促進策の構築、「とちぎ産業創造プラザ」との連携などにより、研究施設や先端・高度技術産業等の立地を進める。

4. 魅力創出

本市東部地域の発展の核として、地域生活や産業活動などを支える多様な都市機能の集積を更に進めるとともに、テクノポリスセンター地区の地域特性に相應しい機能を導入することなどにより魅力あふれる市街地の形成を進める。